

< 参考資料 >

1F1 ~ 3号機 原子炉内温度計並びに原子炉格納容器内温度計
の信頼性評価報告書における温度トレンド誤記について

TEPCO

2016年8月8日

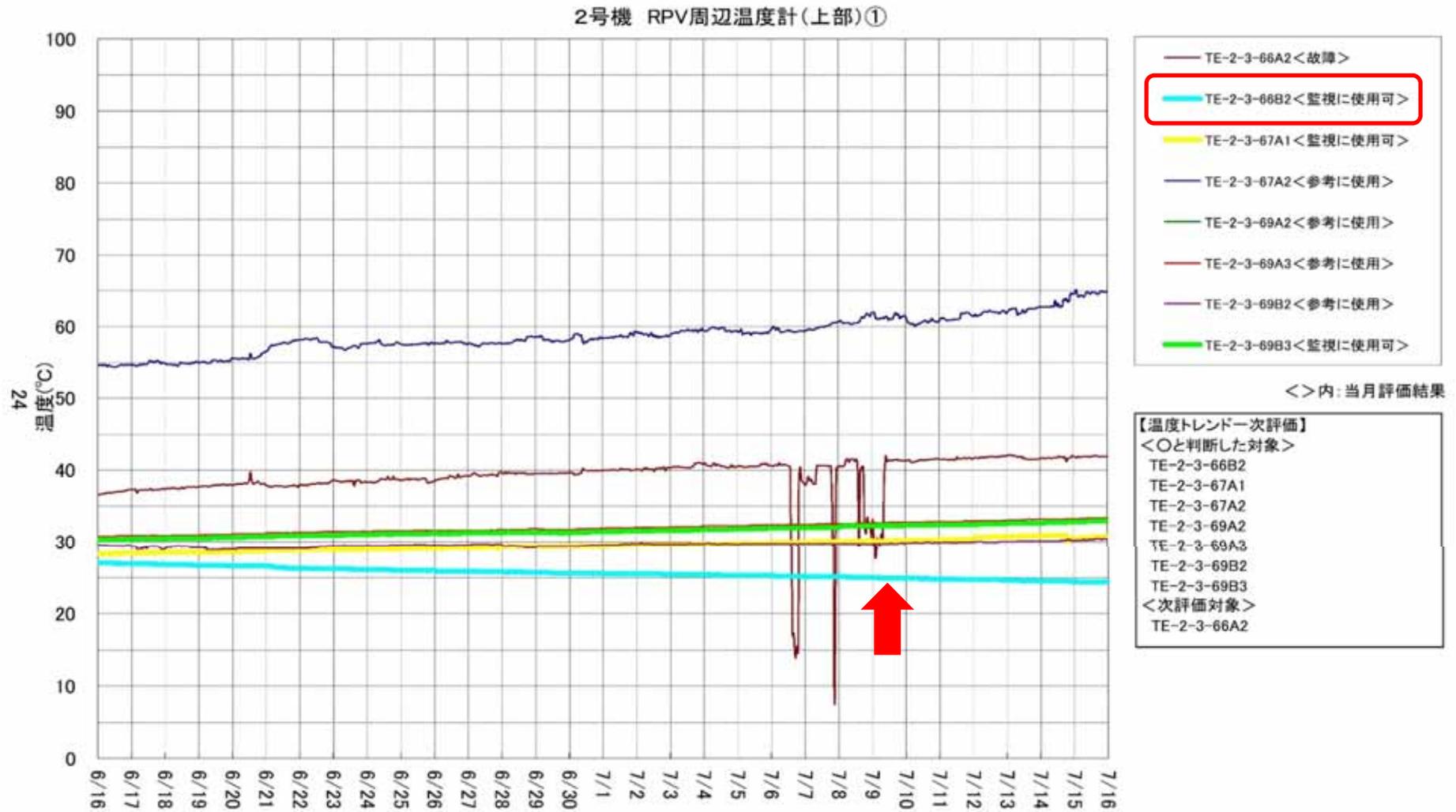
東京電力ホールディングス株式会社

- ◆ 2016年8月1日に原子力規制委員会へ提出した温度計信頼性評価報告書（評価期間：2016年6月16日～2016年7月15日）のうち，2号機原子炉圧力容器（以下，RPV）温度計1本の温度トレンドについて，2016年3月1日に提出したデータ（2016年1月16～2月15日のデータ）を使用し，誤記していた。

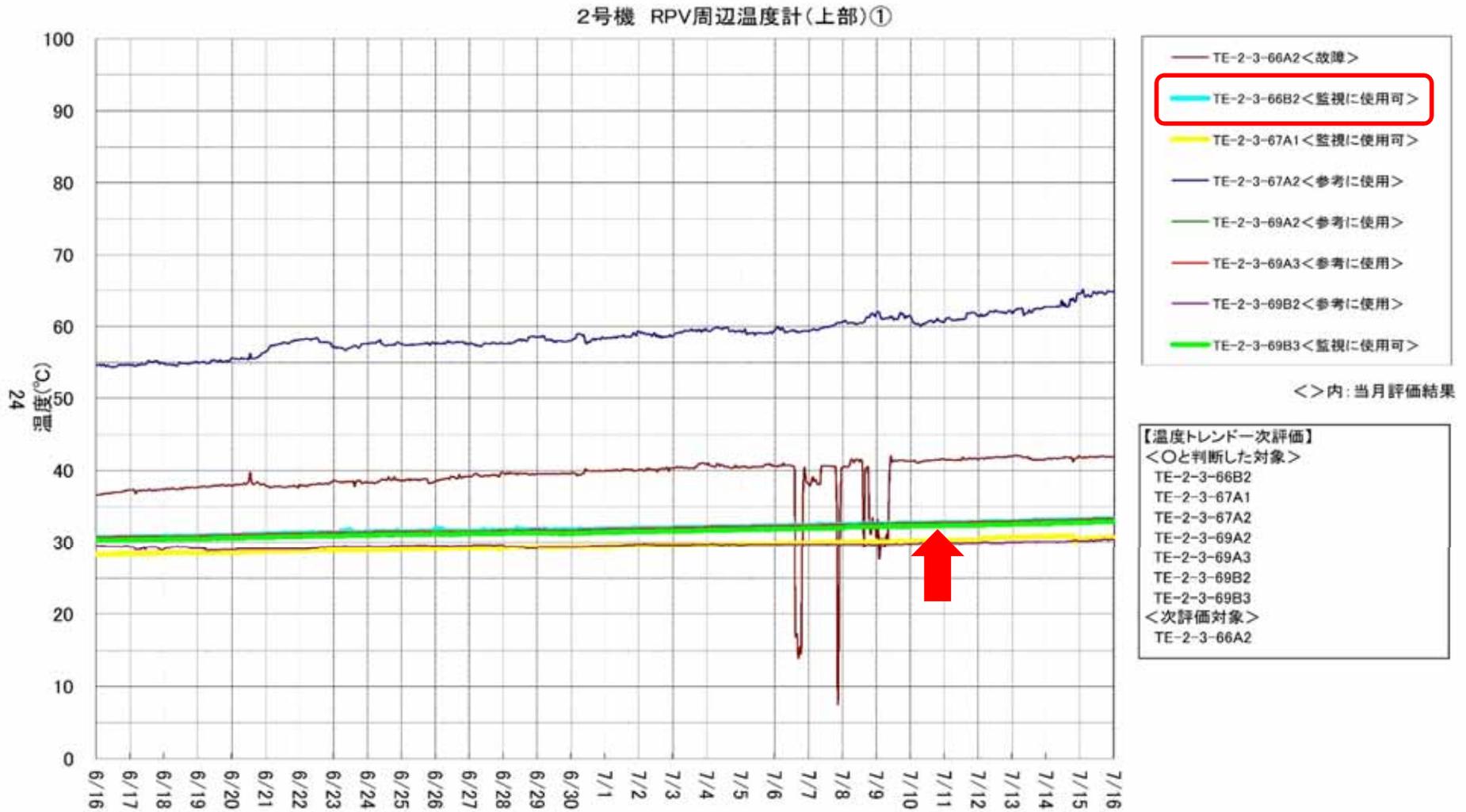
対象温度計： TE-2-3-66B2（VESSEL HEAD FLANGE）
実施計画の監視対象ではない

- ◆ 日常における温度監視・温度計の状態監視は，集中監視システムにより常時監視しているため，冷温停止状態の監視に影響はなかった。

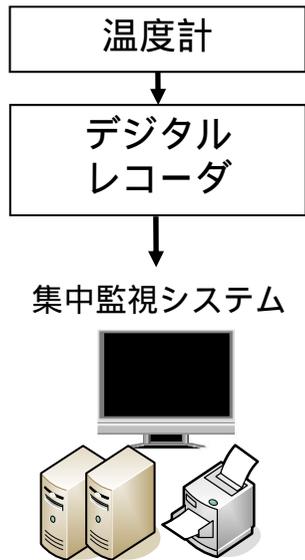
2 - 1 . 誤記のあった温度トレンド



2 - 2 . 正しい温度トレンド



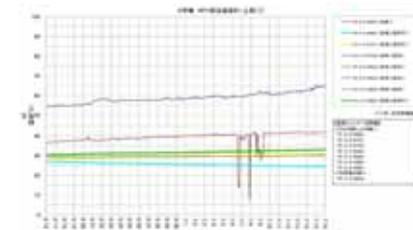
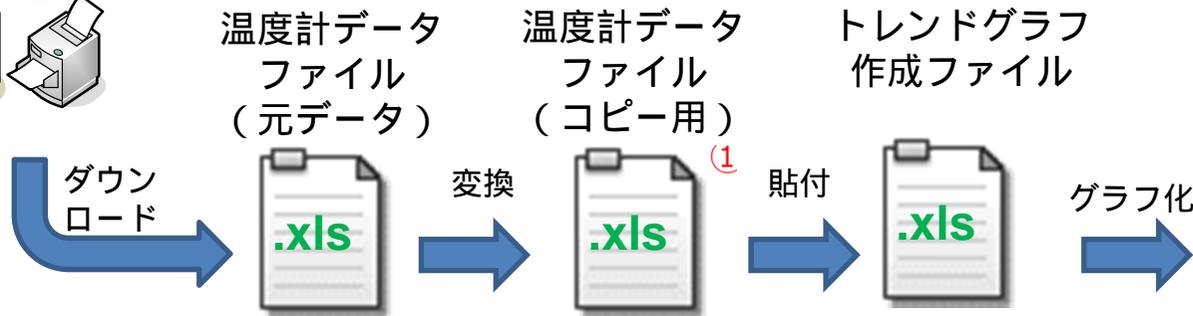
3 . 温度トレンド作成の流れと原因



日々のデータ監視
とデータ保存を実施

【原因】

温度データファイル（コピー用）でデータ入力欄がなくなっており、2号機 TE-2-3-66B2の元データが読み込まれなかった。
温度データファイル（コピー用）をトレンドグラフ作成ファイルへ貼り付ける際に、データを初期化せずに上書きしていたため、古いデータ（前月データ）が残ってしまった。



温度計データファイル（コピー用）

...	...	66B1	66B2	
...	
...	
...	

コピー範囲

66B2のデータ
入力欄がない

トレンドグラフ作成ファイル

...	...	66B1	66B2	
...	
...	
...	

貼付範囲

前月の
データが残存

- ▶ 8月1日に原子力規制委員会へ提出した報告書について、温度トレンドの再確認を実施し、当該温度計以外に誤記のないことを確認（8/3完了）
- ▶ 原子力規制委員会へ提出した過去の報告書についても同様の調査を実施
- ▶ 原因の深掘りと対策の検討を実施

【過去の報告書の調査方法】

温度計データファイル（元データ）とトレンドグラフ作成ファイルのデータ比較を実施

- ・ 評価対象温度計に漏れがないことの確認
- ・ 2つのデータ間の温度データに差異がないことの確認

